



日時：2月18日（土） 13：00～16：15  
会場：オンライン ZOOM 開催

### ①電話・SNSなど対面ではない相談への対応

時間：13：00～15：00

講師：NPO 法人 親子の未来を支える会理事長  
FMF 胎児クリニック東京ベイ 院長 林 信彦 氏

### ②相談業務における接遇・対応の基本を学ぶ

時間：15：15～16：15

講師：医療法人産育会 堀病院 看護部長・認定看護管理者  
布施 明美 氏



参加者数：30名（会員25名、非会員5名）

## 主催者から

- ① ICTやIoTをどのように活用するのか新しい視点を得ることが出来る研修でした。また、検査機器や、検査方法の発達によって、それまでは発見できなかった胎児の状態（異常）を発見できるようになったことは、母子や家族にとってどのような影響を及ぼすことなのか、改めて考える機会となりました。助産師はそれらの技術に関する知識を持ち、対象とどのように関わることが必要なのか、留意点は何か学ぶことが出来ました。
- ② 対象と関わる際の接遇とマナーについて基本的な学習をすることが出来る研修でした。また、対面ではない関わりの際の注意点を学び、自分の対応や言動が相手にとってどのように感じるのか考えることの必要性を学びました。基本的な内容であっても、いつも変わらずにできることの大切さを感じる研修でした。

## 参加者から

- ① 胎児の検査・治療がかなり進んでいることを知り、新しい知見を得ることが出来ました。また、イギリスの様に胎児診療科がもっと必要だと思いました。メタバースなど AI やバーチャルはすでに社会では認知され、活用されているものであることを知ることが出来ました。助産師も新しい技術・ツールに対する知識を持ち、それを活用することが出来ると良いと思いました。  
オンラインで相談を受ける際は、相手がどんなことを望んでいるのか、特に顔が見えない場合は、間を大切にしたり、しっかりやり取りしながら言葉を選ぶ必要性を感じました。
- ② 電話でも笑顔で対応したり、曖昧な言葉を避け、最後まで相手の言葉を遮らずに聴くことなど大切な接遇マナーを再確認できました。  
とても大切なことを学び、改めて医療者として対応に気を付けたいと思いました。実際の話聴き、心がける事が明確になりました。内省をする機会となりました。